

たまちゃん通信

平成 28 年 3 月発行 75-1

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号

TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311

e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

NHKが『原節子 永遠に美しく』を放送

杉葉子元顧問が共演した思い出をロスで語る

NHKテレビは、平成 28 年 1 月 25 日の「クローズアップ現代」で、昨年 9 月に 95 歳で亡くなった女優・原節子さん(写真:右:撮影 秋山庄太郎)を、『原節子 永遠に美しく』のタイトルで取り上げました。

昭和 10 年、15 歳でデビューした原さんは、戦前から戦後にかけて、巨匠と呼ばれる多くの監督の作品に出演し、映画誌が数年ごとに行うオールタイムベストテンでたびたび、女優部門第一位を飾りました。

また、銀幕を去って 50 年以上たってもなお、人々の心をとらえてきました。「なぜ原節子は『伝説』であり続けるのか。ある映画研究者は『原節子が日本人の理想を演じ続けてきたからだ』と語っている」と、番組では紹介していました。

そして、新たに発掘された戦前のフィルムや、原さんと共演した往年の名女優の証言をとおして、その魅力をひもといていました。その中に、日本のお手玉の会の元顧問でロサンゼルスに住む、女優の杉葉子さんのインタビューがありました。杉さんは、昭和 24 年に公開されて大ヒットした『青い山脈』で、原さんと共演しました。映画では、原さんが教師役、杉さんは教え子を演じました。公開から 2 週間で 500 万人を動員した映画でした。



杉さんのお話です。

「やはりこれは、私の心の原点というものかしらね。日本に民主主義が根づいた、画期的なそういう意味の映画なんです。ただ若く楽しい青春映画だけじゃなしにね。彼女もそれ(民主主義)を体現する方だったから。私も同じように行動するというのは『青い山脈』の精神だと思います」

杉さんには、今も忘れられない光景があります。

(上：原さんを語る杉さん、下：「青い山脈」撮影が深夜に及んだ時の原さんの姿でした。

の一場面、手前が原さん、中央が杉さん) 「深夜の撮影の時のことです。我々でさえもひっくり返ってごろごろ寝ていたのに、(原さんは)真夜中まで立って服のシワを気にされて。大スターでちやほやされているのが(普通なのに)、むしろ修道院の尼僧のような、厳しい、そういうようなね。やっぱり女優魂に精魂を込めたというような、そういう方だと思って。」

杉さんは、67 年前の映画の写真を、今も寝室に飾っているそうです。

(記事と原さんの写真は、NHKのホームページから引用。テレビ画面の撮影は、森勝代さん(和歌山))

